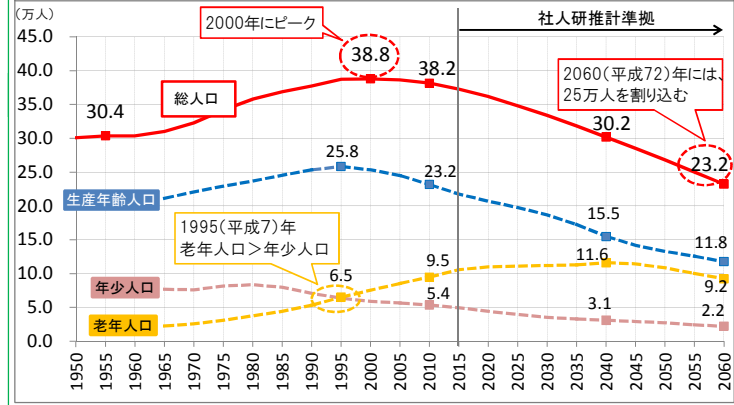


人口の現状分析

総人口等の推移

- 総人口は、1950年から1960年にかけて、約30万人で推移、2000年にピークを迎え、以降緩やかに減少
- 1995年に老年人口が年少人口を上回る。
- 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計に準拠すると、2060年には25万人を割り込むこととなる。

長野市の特性、強みを活かす



人口の将来展望

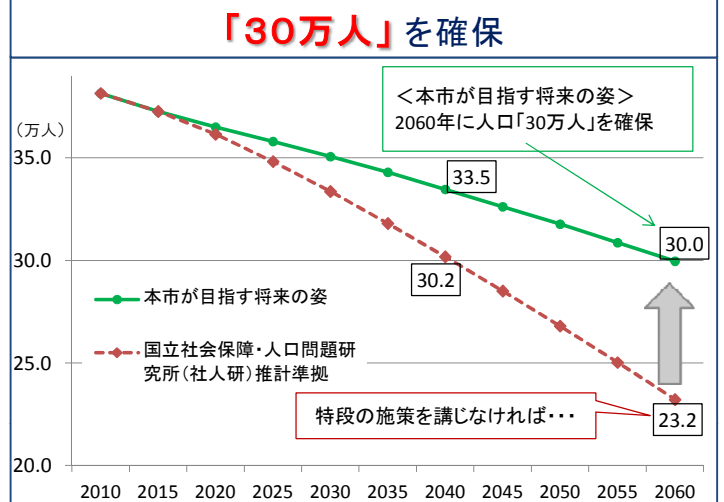
- 人口分析基礎調査
- ※人口の将来を展望するに当たり、3つのアンケートを実施
- 市民意識アンケート [回答者:3,154人]
  - 高校生意識アンケート [回答者:3,731人]
  - 市外居住者意識アンケート [回答者:268人]

市民ニーズを把握し、将来展望を見据える

本市が目指す将来の姿

合計特殊出生率 (自然増減)	2025年: <b>1.84</b> (県民希望出生率) 2035年: <b>2.07</b> (人口置換水準) (現状値:平成25年 1.50)
転入と転出 (社会増減)	2020年: <b>移動均衡</b> 2025年以降、 <b>年間約80人</b> の社会増 (現状値:平成26年:△574人)

2060(平成72)年に、**高度経済成長期の入り口**に当たる**1955(昭和30)年と同程度の人口規模「30万人」**を確保



～若い世代が希望を持ち、誰もがいきいきと暮らし続けられる長野市を目指して～

次代を担う若者の希望の実現

多様な地域の魅力の発揮

総合戦略の重点ポイント

目標・数値目標

【目標1:しごとの創出と確保】  
**産業が芽吹き伸びゆく、「しごとづくり」と「ひとづくり」の実現**

- [数値目標]
- 雇用創出人数:300人(5年間累計)
  - 新規就農者数:150人(5年間累計)

【目標2:移住・定住・交流の促進】  
**魅力を高め、ひとを惹きつける、ふるさと「ながの」の実現**

- [数値目標]
- 年齢階級15～34歳の社会増減:平成32年に移動均衡
  - 観光入込客数:1,200万人/年

【目標3:少子化対策・子育て支援】  
**「ながの」で結ばれ、はぐくみ、育つ、若い世代の想いの実現**

- [数値目標]
- 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っていると感じる市民の割合:50%以上
  - 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合:現状値(小学86.3%, 中学校71.2%)以上

【目標4:住みやすい地域づくり】  
**あふれる「宝」を活かし、安心して住み続けたいまちの実現**

- [数値目標]
- 長野市を住みやすいまちと感じる市民の割合:現状値(78.1%)以上

【目標5:広域市町村連携】  
**自治体間連携で輝く県都「ながの」の実現**

- [数値目標]
- 連携中枢都市圏の連携協約

施策分野・施策

(1)市内企業の競争力強化と起業・創業・企業立地による雇用の創出

- ① 分野・業種の垣根を越えた連携による産業の育成
- ② 地域資源を活用した起業・創業支援の推進
- ③ 魅力的な産業集積に向けた誘致の強化

(2)みどり豊かな「ながの」の農林業の魅力向上

- ① 農業の収益性の向上
- ② 農業の多様な担い手づくり
- ③ 森林資源の活用パッケージの創出

(3)求職者としごとのマッチング支援の充実

- ① 若い世代の人材確保と就職支援
- ② 多様な市民が活躍する雇用の促進

(1)若い世代が「ながの」に根づく新しい流れの創出

- ① 若い世代の地域への愛着の醸成
- ② 若い世代の地元定着の促進
- ③ 若い世代のふるさと回帰の促進

(2)「ながの」スタイルで魅了する移住・定住の促進

- ① 戦略的な情報の発信と相談体制の整備
- ② 移住希望者の視点に立った「ながの」ならではの受入体制の整備

(3)アドバンテージを最大限活かした交流人口の増加

- ① 「ながの」に宿る豊富な地域資源を活かした観光振興
- ② 新たな観光市場を切り拓く広域観光・インバウンドの推進
- ③ 交流を創出し感動を呼び起こす文化芸術・スポーツの振興

(1)結婚の希望をかなえるための環境整備

- ① 結婚に向けた自分磨きの機会の充実
- ② 若い世代の結婚を応援する市民ボランティアの養成

(2)妊娠・出産・子育てに対する不安感や負担感の軽減

- ① きめ細かい子育て情報の発信と相談支援
- ② ライフステージに応じた経済的支援

(3)働きながら子育てしやすい環境整備

- ① 多様なニーズに応じた預かり支援
- ② 仕事と子育ての両立支援

(4)魅力ある教育の推進と教育環境の充実

- ① 幼保小中高の連携・一貫教育の推進
- ② 学びを支える家庭・地域との連携の推進

(1)暮らし続けられる地域の形成

- ① 暮らしの安心と安全を守り続ける支援の充実
- ② 生活機能の拠点化と地域間を結ぶ交通ネットワークの確保

(2)多様な主体の連携・協働による地域課題の解決の仕組みづくり

- ① 市民が主役の地域づくりの推進
- ② 地区を単位とした活性化の取組への支援
- ③ 地域活動「ずく」出し人材の育成

(3)「そここそ生きる」資源による地域づくりの推進

- ① 空き家など地域に眠るストックの活用推進
- ② 中山間地域ならではの資源活用による地域活性化

(1)自治体間連携による相乗効果の発揮

- ① 自治体間連携施策の推進

主な具体的取組

- ◇ 経済波及効果の高い第2次産業や雇用を支えているサービス業の振興につながる新分野開拓・商品サービス開発や人材育成支援
- ◇ 多様な働き方を実現するICTを活用したテレワークやシェアオフィスでの創業促進
- ◇ ICT産業や本社機能の移転など企業立地の推進
- ◇ インターネットサイトによる情報発信のほか、同窓会など関係機関と連携したセミナー開催など地元企業の魅力や就職情報の発信強化
- ◇ 木質バイオマス利用を推進する取組と搬出間伐の促進による森林資源の活用推進

- ◇ 伝統芸能、産業、歴史、文化、人物、オリンピックレガシーなど様々な分野の地域の魅力を児童・生徒が学習・体験する取組の推進
- ◇ 学校の垣根を越えた児童・生徒、学生等の交流など若い世代の主体的な活動支援
- ◇ 専用サイトでの空き家の情報提供と移住者向けの改修支援制度の充実や移住者の起業の促進
- ◇ 北陸新幹線延伸を契機とした沿線市町村との観光連携とインバウンドの推進に向けたSNS、海外向けウェブサイト、海外エージェントの活用

- ◇ 妊娠初期から子育て期の総合的な相談支援拠点(ながの版ネウボラ)の整備
- ◇ 育児経験が豊かな主婦等を主な対象とした子育て支援員の認定
- ◇ 子育て中の雇用継続に取り組む企業支援や優良事業者として表彰した事業者の取組の周知など子育てしやすい職場づくりの促進
- ◇ 自立した18歳の育成に向けた一貫教育のための中高一貫教育の推進
- ◇ 自然環境や地域資源を取り入れる信州型自然保育の推進

- ◇ 市民公益活動団体や地区が主体となる活性化の取組への支援
- ◇ 善光寺の門前町を遊休不動産のリノベーションで活性化させる協働による取組の支援
- ◇ 地域振興を図る中山間地域の資源を活用した起業の促進
- ◇ 個体数調整等のため捕獲したイノシシ・ニホンジカのジビエ活用推進

- ◇ 長野地域連携推進協議会での連携協約の締結に向けた協議と自治体間連携の推進